

日本の物価上昇と社会背景

宮城県仙台第三高等学校 普通科73班

1. テーマ設定の背景と目的

昨今の世界情勢により日本の物価は上昇していて、私たちの生活に大きな影響を与えているから。また、調べる中で物価上昇の共通性や複雑な要因を明らかにし、私たちの身近なことと関連付けて社会に提言したいと考えたから。

2. 物価上昇の共通性と特徴

日本経済の成長・衰退と物価上昇の共通性について

- ① **世界で起こる戦争**がいずれも関係
- ② 経済成長のあとの反動
- ③ **政府による政策**

↓
ここから考察してみると、、、
エネルギー源のほとんど(食料もかなり多く)を外国から輸入している日本は昔から**世界情勢の影響**を大きくうけている。現在、ロシアのウクライナ侵攻の影響が波及して物価が上がり続けている日本を見るとよく分かる。つまりここ60年で、日本の貿易体制・他国からのエネルギー源に依存している状況に変化はない。

3. 仮説

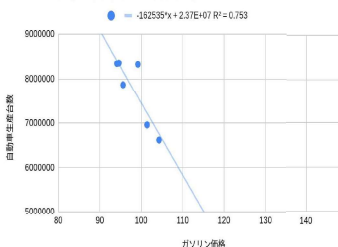
2. 物価上昇の共通性と特徴③より立てた仮説は「政府による政策が最も大きな影響を与えている」である。
この仮説をより詳しく明らかにしていくために以下の点に焦点を当てて検証を行った。

検証 i : ガソリン価格と(従来)自動車生産台数との相関

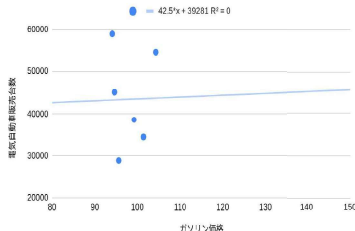
検証 ii : ガソリン価格と電気自動車販売台数との相関

4. グラフ

ガソリン価格と自動車生産台数の相関



ガソリン価格と電気自動車販売台数の相関



5. 結果・考察

4. グラフの結果より、検証1に関しては、負の相関が出たことから、「ガソリン価格の上昇においては日本は石油を輸入に頼っているので世界情勢の影響及び政府の外交を受け悪影響が出ている」と考察できる。
また、検証2に関しては、「ほとんど相関が見られないことからこの2つの事象の間に影響を与えている共通要因(そもそもの電気自動車の知名度や全国的な普及率、石油の国際価格等の基準)があるのではないかと考察できる。

政府のエネルギー政策の例

「原子力基本法」: 電気供給の安定性、信頼性、脱炭素の向上



現在のエネルギー問題のリアルに迫るために大手電力会社「関西電力」に話を伺った。

質問内容

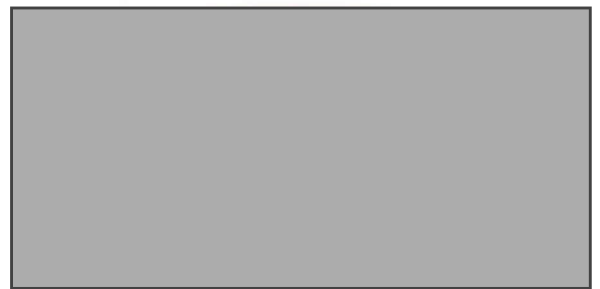
Q. 現在の円安とロシア問題が関西電力にどのような影響を与えているか

A. 燃料費が上昇している(ロシアのウクライナ侵攻前から) 今は落ち着いているが急激な高騰の可能性があるため、予断を許さない状況である。

関電では消費者への供給時の燃料費を調整して対応している

Q. 我々学生がエネルギーや経済の動向を注視していくのにあたって大事なことは何か

A. **S+3E**(Safety・Energy Security・Economic Efficiency・Environment)を正しく理解し、**短期的ではなく長いスパンで各分野を網羅的に考える。**



物価上昇

すべき対応

エネルギー価格
世界情勢
環境への影響

広い視野で長期的に

参考文献

- ・一般社団法人 次世代自動車振興センター EV等販売台数統計
- ・REUTERS 焦点 気候変動問題とインフレリスク
- ・一般社団法人 日本自動車工業会 四輪車
- ご協力頂いた企業
- ・関西電力

6. まとめ

この探究活動を通して、物価上昇の裏に隠れた多くの要因を見つけることができた。まだまだインフレの波が落ち着くことはないが私たち高校生ができること、考えることが大事だということが分かった。探究活動は終わってしまうが日々、経済や政府の動きに注視していくことが自分事として捉えるきっかけになると思うので実践していきたい。